

みやこのあと まち歩きマップ

～宮跡東編～



スタンプラリー
シート付き

ここは、都があった場所。
永い歲月、数多くの物語が
積み重なった歴史の上を
あなたはいま歩いています。

山折り



朱雀門（平城宮いざない館）



鳳凰（東院庭園）



お守り犬（法華寺）



海龍王（海龍王寺）



F-1 支援戦闘機（航空自衛隊バス停）



業平椿（不退寺）

※拝観料金が必要となるスタンプポイントが含まれます。

東院庭園

奈良時代、宴会や儀式を催した庭園を復原したのが東院庭園です。すぐ近くの平城京左京三条二坊宮跡庭園と並ぶ歴史的価値の高い庭園で、日本庭園のルーツともいわれ、国の特別名勝にも指定されています。平城宮の特徴の一つは、その形が正方形ではなく、東側に「出っ張り」があること。このエリアは続日本紀に「東院」として記されている場所にあたるといわれ、そのことから、昭和42年にここで発見された庭園跡を「東院庭園」と呼ぶようになりました。発掘調査の結果、東西80m×南北100mの敷地の中心に、「洲浜敷」と呼ばれる複雑な汀線の庭池が設けられ、その周囲に建物が配されていたことがわかりました。当時の貴族たちはここで、水面に浮かべた盃が目の前に流れてくるまでに詩歌を詠み、盃の酒を飲んで次へ流すという貴族の遊び「曲水の宴」に興じたそうです。

住 所 奈良市法華寺町480（平城宮跡歴史公園東南部）
アクセス 平城宮いざない館より徒歩15分
公開時間 9:00～16:30（入場は16:00まで）
休 館 日 月曜日（月曜が祝日の場合はその翌日）
年末年始
入 場 料 無料



平城宮跡資料館
ホームページ

法華寺

奈良時代、光明皇后が父・藤原不比等の邸宅跡に創建したのが法華寺です。総国分寺である東大寺に対し、総国分尼寺としてつくられました。当時はいまの数十倍にも及ぶ寺地を有していましたが、平安遷都後は衰退し、その後、豊臣秀頼の母淀君によって現在の構えに整えられました。夫・聖武天皇とともに仏教を篤く信仰していた光明皇后は、仏教精神に基づく社会福祉の始祖として知られています。法華寺にもから風呂（いまでいうサウナ）をつくり、自ら千人の病人の垢を流されたといわれ、その慈悲の心を垣間見ることができます。光明皇后がモデルといわれる本堂の十一面観音立像（国宝）は、秘仏で開扉時期は限られていますが、それ以外も白檀のご分身像を拝観できます。また皇后考案の「お守り犬」（※）は、いまでも当時と同じ製法で尼僧が一つひとつ手づくりしており、疫病・厄除けや長寿、安産のお守りとして親しまれています。

※授与希望者は電話にて要予約／発送不可

住 所 奈良市法華寺町882
アクセス 奈良交通バス「法華寺」から徒歩3分
公開時間 8:30～16:30（受付は16:00まで）
休 館 日 年中無休
入 場 料 大人700円（特別公開時は別に料金設定あり）



法 華 寺
ホームページ

海龍王寺

奈良時代以前、野見宿祢を祖とする土師氏の氏寺を、平城遷都の際に藤原不比等が譲り受け、邸宅を構えます。不比等の没後、これを受け継いだ娘の光明皇后は、遣唐留学僧・玄昉が新しい仏法を無事に持ち帰ることを願い、寺院の伽藍を整備しました。帰国後、玄昉は内裏に近いこの寺院の住持に任じられます。旅の途中、嵐に襲われた玄昉が海龍王経を唱え難を逃れたことから、寺号も海龍王寺と改められました。このエピソードにちなみ、いまでも旅行や留学の安全を祈願するお寺として知られています。見どころは、創建当初からの建物である西金堂（重要文化財）と、堂内に安置されている天平時代建造の五重小塔（国宝）。また江戸時代に建てられた本堂には、鎌倉時代造立でご本尊の十一面観音立像（重要文化財）（※）が安置されています。春先には雪柳が境内一円に咲き乱れ、「花の寺」としても有名です。

※通常は戸帳越しの公開。毎年3月下旬～4月上旬、5月上旬、10月下旬～11月上旬の特別開帳等でのみ開帳。

住 所 奈良市法華寺北町897
アクセス 奈良交通バス「法華寺」から徒歩すぐ
公開時間 9:00～16:30（特別公開時は9:00～17:00）
休 館 日 8月12日～17日、12月24日～31日はお寺の行事のため閉門
入 場 料 大人500円（特別公開時は別に料金設定あり）



海 龍 王 寺
ホームページ

航空自衛隊 奈良基地 （幹部候補生学校）

奈良基地は関西唯一の航空自衛隊の基地です。基地には航空自衛隊の幹部自衛官となる幹部候補生を教育する全国唯一の学校、幹部候補生学校があります。基地は昭和31年11月に開設されました。平城京跡北東のウワナベ古墳、コナベ古墳に挟まれる形で、多くの史跡に囲まれた環境に位置しており、敷地南側は平城京特別保存地区のため、正門をはじめ建物が瓦葺きという特徴があります。事前の申請が必要※ですが、資料館やF-1支援戦闘機などを見学できる基地見学が可能です。また、6月頃には幹部候補生による観閲式訓練展示の見学などができる「奈良基地祭」、8月頃には「平城山納涼会（夏祭り）」も開催され、地域からも親しまれています。※見学についてのお問い合わせは、下記の奈良基地HPをご覧ください。



住 所 奈良市法華寺町1578
アクセス 奈良交通バス「航空自衛隊」から徒歩すぐ
見 学 要事前申請



奈 良 基 地
ホームページ

不退寺

平安時代初期、譲位後の平城天皇は「萱の御所」と呼ばれる御殿を平城京跡・北東エリアに建て、後にこれをその子・阿保親王と孫・在原業平が受け継ぎます。阿保親王の没後、業平自らが聖観音像を造立し祀ったのが不退寺の創建であるといわれ、別名「業平寺」とも呼ばれています。室町時代の建築である本堂には、ご本尊の聖観音菩薩立像が安置されています。藤原時代の桂材・一木造りの像は業平の作と伝えられ、宝冠帯が大きく特徴的なことから「リボンを着けた観音様」と親しまれています。また平安時代の五大明王像が五体揃っているのは全国的にも珍しく、奈良県で拝観できるのはここだけです。境内はレンギョウをはじめ、黄ショウブ、睡蓮などの花に彩られ、伊勢物語に恋多き人物として描かれた業平が、交わる二本の椿の枝を見て恋の成就を祈ったという「業平椿」（※）もご覧いただけます。※現在は二代目

住 所 奈良市法蓮町517
アクセス 奈良交通バス「不退寺口」から徒歩3分
「一条高校前（不退寺口）」から徒歩5分
公開時間 9:00～17:00
休 館 日 無休
入 場 料 大人500円（特別展・業平忌は別に料金設定あり）



不 退 寺
ホームページ

お祈りが根付いた文化のまち

ルートを歩いていると、そここの道端にお地藏さまが祀られているのを目にします。いつの時代のもものかわからないものもありますが、それらは日本人にとって歴史を感じる最も身近な手がかりといえます。赤い前掛け、お供え物やお花、雨風をしのぐ祠など、隅々まで手入れの行き届いたその姿の向こう側には、いまでも昔も変わらない、地域コミュニティへの深い愛情が見て取れます。東院庭園北側の宇奈太理坐高御魂神社、海龍王寺南側の春日社は、それぞれ地域の方々が交代で管理をされている氏神様です。手を合わせる場所があちこちにある、そんなお祈りが根付いた文化を改めて感じられるのも、この地域の特徴のひとつです。



発 行 者 平城宮跡歴史公園 平城宮跡管理センター
〒630-8012 奈良県奈良市二条大路南三丁目5番1号
TEL：0742-36-8780 / FAX：0742-36-8781
発 行 日 令和七年三月二十日（第五刷）

掲載内容は令和七年三月現在のものです。
発行後、掲載情報に変更がある場合もありますのでご了承ください。
無断で複写・転載することはご遠慮ください。



平城宮跡歴史公園
ホームページ

